

平成25年度 各郡市の研究活動報告（加茂市）

会長 目黒 隆

副会長 白井貞一

評議員 目黒 隆

1 研究活動の方針

(1) 子供や時代の課題から

加茂市の児童生徒の学力向上に向けて、会員相互の密接な連携の下に研究と実践を深め、会員の資質向上、授業力の向上を目指す。

(2) 地域の特性から

市の教育の充実進展のため、全会員が教科と領域の二つの部会に所属し、中学校教育研究協議会と一体となって、研究活動を推進する。

2 研究活動の実際

(1) 研究活動の組織について

総会、運営委員会（各校の教務主任）と理事会（各校校長）、各教科領域の正副部長会を置き、それぞれ年間計画に基づき開催し、各部の活動・予算等について調整等を図る。

(2) 各組織の活動について

各教科・領域と養教、栄養職員、事務部会からなり、各部ごとに研修主題を設定し、研究授業に力を入れ、実技研修会、実技講習会、講演会、事例研究会等、多様な研修活動を実施している。

(3) 研究刊行物について

加茂市教育委員会年1回発刊の「加茂市の学校教育」に加茂市学校教育研究協議会の研究記録を載せている。

(4) その他

○教育講演会

平成25年8月28日（水）14:00～15:50 会場；加茂文化会館
演題「子どもたちの未来のために」

講師 新潟青陵大学大学院 教授 碓井 真史 様

○先進校視察

次年度の研究発表校が先進校を視察し、自校の研究活動の推進に役立てる。

3 加茂市小教研が関係した研究会

○加茂市教育委員会指定研究会

①平成25年11月12日（火）会場：加茂市立加茂中学校

②平成25年11月13日（水）会場：加茂市立下条小学校

平成25年度 各都市の研究活動報告（南蒲・田上町）

会 長 白井 貞一
副会長 原 秀栄智

1 研究活動の方針

(1) 子供や時代の課題から

田上の子は田上で育てるという目標に向かって「田上の12か年教育」を策定し、その具現化に向けて教職員相互の緊密な連携を図るとともに、教職員の資質向上に資する事業を行う。

(2) 地域の特性から

1 中学校・2 小学校という小回りのきく規模を生かした部会構成により、今日的な学校課題の改善に組織的に取り組む。

2 研究活動の実際

(1) 研究活動の組織について

- 総会、評議員会（各校の校長・教頭・教務・研究主任）、部長・副部長会を置き年間計画に基づいて各事業についての調整等を図る。
- 全会員が所属する教科・領域のA部会とその他の分掌部会のB部会を構成し、研究活動を推進する。

(2) 各組織の活動について

A部会は、原則年間3回の研修の場を設定し、講演会や実技指導等の実施及び各校の授業公開を通して指導力の向上、指導計画の充実等を図る。B部会は、必要に応じて適宜部会を設定し、多様な研究活動及び情報交換を実施する。

(3) 研究刊行物について

田上町教育研究協議会の委託事業として「田上の教育」を発刊する。

(4) 幼・小・中の連携の推進

田上町研究協議会として幼・小・中の連携を探るために幼・小ではアプローチ・スタート・カリキュラムを作成し、小1プロブレムの理解をめざしている。更に小・中の連携を深めるために、算数、数学科と外国語(英語)の指導案を小・中協働で作成し授業改善に取り組んでいる。

(5) その他

夏季全体研修会

田上町の歴史と文化を学ぶことを目的に、町指定文化財「椿寿荘」館長より「豪農の館とその歴史」について講演をいただいた。